

目 次

繊維情報

・2007年1月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2006年12月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	8
・アジア 中 国 2006年(1~12月)の繊維品貿易・輸出は高い伸びを維持、輸入は2桁の伸び.....	11
香 港 2006年(1~12月)の繊維品輸出、全体として堅調に推移.....	15
タ イ 2006年(1~12月)の繊維品貿易・輸出は増加推移、輸入は微増推移.....	17
・米 州 米 国 2006年12月の繊維品輸入、微増.....	20
2007年1月の大手小売店販売、堅調.....	23

組合関係の会議と催事

・(2007年2月)(2007年3月のスケジュール).....	26
---------------------------------	----

組合業務報告

・東京・大阪・名古屋で「貿易実務の基礎-実践編研修会」を開催(輸入).....	28
---	----

お知らせ

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	31
・「イラン」を仕向国とする貿易保険引き受け基準の取扱(輸出).....	32
・「ブルンジ」向け他2カ国の保険引受方針の変更(輸出).....	33
・4月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	34



2007年1月の繊維品輸出概況

- ・ 繊維品全体の輸出
- 前年同月比 14%増の 5 億 4,806 万ドルと 6 ヶ月連続で増加 -

2007年1月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比 14%増の 5 億 4,807 万ドルと大幅に増加し、6 ヶ月連続の増加となった。

なお、為替が 2006年1月の 115.54 円に対し、2007年1月は 120.85 円と約 4%強の円安推移となっており、円ベースでは 19%増の 660 億 8,600 万円と、2006年2月以降連続して増加推移が続いている。

< 主要地域・国別輸出 >

1月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の 71%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けが 2 桁の増加となり、また欧米、西アジアも引き続き健闘し、主要地域は各々好調な推移となった。

東アジアの主要国向けでは、タイ、マレーシア、フィリピンが低調な推移となったが、その他主要国では、最大市場の中国が 2 桁増となったのを始め、香港、韓国、ベトナム、台湾、シンガポール、インドネシアが共に好調に推移し、全体としては前年同月比 11%増の 3 億 8,917 万ドルと 2 桁の増加となった。但し、中国向けについては、例年取り引きに大きな影響を与える旧正月休みが昨年は 1 月、今年は 2 月に始まっており、昨年の 1 月の実績は大きく減少していることから、今年は 2 月にその影響が出てくる懸念される。

純輸出市場向けは、シェア 5%の西アジアは、サウジアラビアが大きく後退したが、アラブ首長国、イランが共に好調に推移し、全体として 36%増の 2,950 万ドルと引き続き増勢を持続している。

欧米市場もこのところ揃って好調な推移となっており、シェア 11%の EU は、主力の織物類、また原料類（綿・糸）が共に好調に推移し、35%増の 5,780 万ドルと大幅に増加した。一方、シェア 9%の米国も、綿類、織物類、不織布が好調に推移し、10%増の 4,868 万ドルと前月に続き 2 桁の増加となった。

< 主要品目別輸出 >

これを主要商品別にみると、まず**綿類**の輸出は、全体としては、数量で 26%増、金額で 30%増と、数量、金額共に大幅な増加となった。

太宗の合繊綿は、数量で 26%増、金額で 30%増となった。

この内、主力のアクリル綿は、最大市場の中国、またイラン、米国が揃って大幅に増加し、

EU は不振に終わったが、数量で 35% 増、金額で 32% 増と好調な推移となった。

一方、ポリエステル綿は、EU、米国は健闘したが、量的に中国、タイ、マレーシアが大幅に後退し、数量で 11% 減となった。但し、単価のアップもあり、金額では 7% 増となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU、また東アジアが好調に推移し、数量で 25% 増、金額で 26% 増と数量、金額共に 2 桁の増加となった。

スフ綿は、中国が激減したが、EU、トルコが大幅に伸び、数量で 34% 増、金額で 29% 増と好調な推移となった。

糸類の輸出は、数量で 9% 増、金額で 8% 増と数量、金額共に順調な推移となった。

主力の合繊長繊維糸は数量で 10% 増、金額で 22% 増となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、米国は不振に終わったが、中国、タイ、EU が健闘し、数量で 15% 増、金額で 12% 増となった。一方、ナイロン長繊維糸は、量的には、タイ、米国が大幅に減少し、中国、EU が健闘したが、数量では 10% 減となった。但し、単価のアップにより、金額では 11% 増となった。

その他の合繊長繊維糸では、ポリウレタン糸は、中国が伸びたが、台湾、香港、EU が激減し、数量で 52% 減、金額で 55% 減とほぼ半減した。アクリル長繊維糸は EU が好調に推移したが、米国、東アジアが振るわず、数量で 12% 減となった。但し、金額では単価のアップにより 16% 増となった。

また、人絹糸は中国、EU は健闘し、韓国は大幅に減少したが、数量で 1% 増、金額で 2% 増と数量、金額共に微増推移となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で 9% 増、金額で 8% 増と数量、金額共に好調な推移となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で 1% 増、金額で 1% 増と数量、金額共に微増推移となった。

地域的には、全体の 68% を占める東アジア向けは、香港、韓国、ベトナムは好調に推移したが、最大市場の中国を始め、台湾、タイ、シンガポール、インドネシア、スリランカが軒並み減少し、東アジア全体としては横ばいとなった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビアは大幅に減少し、アラブ首長国は健闘したが、西アジア全体として 4% 減となった。

欧米市場向けは、EU は 55% 増と大幅な増加となったが、米国は 11% 減と 2 桁の減少となった。

ナイロン織物は、数量で 10% 減、但し金額では単価のアップにより、11% 増と数量減の金額増となった。

シェア 80% の東アジア向けは、主力の中国は横ばいに終わり、また、香港、韓国が振るわず、全体として 7% 減となった。その他では、シェア 6% の EU が 41% 増と好調に推移したが、シェア 8% の米国は 21% 減と大幅な減少となった。

織維品輸出実績(2007年1月)

単位	2007年1月				2007年1月～1月				2006年実績			
	数量	金額		前年同月比	数量	金額		前年同期比	数量	金額		
		ドル	千ドル			ドル	千ドル			ドル	千ドル	
織維品総合計		66,086	548,068	114		66,086	548,068	119	114	942,376	8,102,548	
原料(綿)合計	32,121	10,343	85,777	126	32,121	10,343	85,777	126	135	118,994	1,022,832	
スフ綿	6,532	2,716	22,527	134	6,532	2,716	22,527	134	135	25,833	222,022	
合繊綿	23,309	7,444	61,739	126	23,309	7,444	61,739	126	136	90,883	781,236	
(ポリエステル)	2,784	591	4,897	89	2,784	591	4,897	89	111	8,787	75,520	
(アクリル)	18,059	5,236	43,424	135	18,059	5,236	43,424	135	137	65,809	565,715	
糸 合計	9,863	7,869	65,257	109	9,863	7,869	65,257	109	122	103,128	886,798	
人絹糸	865	821	6,808	101	865	821	6,808	101	107	10,436	89,752	
スフ糸	7	17	140	23	7	17	140	23	57	405	3,486	
合繊長糸	8,274	6,348	52,642	110	8,274	6,348	52,642	110	127	80,070	688,416	
(ナイロン)	1,759	1,544	12,808	96	1,759	1,544	12,808	96	123	23,766	185,289	
(ポリエステル)	2,905	1,340	11,110	115	2,905	1,340	11,110	115	117	38,017	188,578	
合繊短糸	213	164	1,364	100	213	164	1,364	100	92	3,777	29,676	
綿糸	410	328	2,721	107	410	328	2,721	107	115	5,070	33,663	
織物合計	74,736	23,536	195,187	109	74,736	23,536	195,187	109	113	366,514	3,151,180	
絹織物	494	783	6,497	101	494	783	6,497	101	108	7,587	109,039	
人絹織物	4,276	1,670	13,848	122	4,276	1,670	13,848	122	119	74,363	227,232	
スフ織物	678	334	2,768	74	678	334	2,768	74	90	9,863	38,529	
合繊長織物	32,067	7,539	62,523	102	32,067	7,539	62,523	102	109	582,944	1,088,929	
(ナイロン)	3,494	819	6,789	90	3,494	819	6,789	90	116	72,490	134,852	
(ポリエステル)	23,393	5,137	42,606	101	23,393	5,137	42,606	101	106	447,965	802,228	
合繊短織物	13,521	3,207	26,596	133	13,521	3,207	26,596	133	131	181,330	368,097	
綿織物	21,187	8,068	66,912	105	21,187	8,068	66,912	105	111	315,623	112,849	
毛織物	2,082	1,529	12,683	128	2,082	1,529	12,683	128	123	49,597	322,469	
不織布	49,537	4,790	39,725	111	49,537	4,790	39,725	111	114	63,003	541,547	
タイヤコード織物	1,422	248	2,060	138	1,422	248	2,060	138	146	2,872	24,684	
コート織物	1,113	2,654	22,014	134	1,113	2,654	22,014	134	127	18,075	46,355	
ニット生地	ドル	4,821	39,979	120	4,821	39,979	39,979	126	120	73,463	631,885	
アパレル	ドル	3,532	29,294	110	3,532	29,294	29,294	115	110	40,668	349,292	
その他	ドル	8,293	68,776	113	8,293	68,776	68,776	118	113	127,380	1,095,332	

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

綿織物は、数量で 5% 増、金額で 6% 増と数量、金額共に堅調な推移となった。

85% のシェアを占める東アジア向けは、中国、香港、ベトナムが好調に推移し、タイ、韓国、マレーシア、フィリピン、インドネシアが後退したが、東アジア全体として 2% 増となった。その他の市場では、シェア 11% の米国は 34% 増と、このところ回復傾向が続いている。

ポリエステル短繊維織物は、数量で 36% 増、金額で 25% 増と数量、金額共に大幅な増加推移となった。

全体の 61% を占める東アジア向けは、最大市場の中国を始め、香港、ベトナムが増加し、東アジア全体として 26% 増となった。一方、シェア 38% の民族衣装用の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国、クエートが揃って大幅に増加し、西アジア全体として 52% 増となった。

人絹織物は、数量で 22% 増、金額で 14% 増と数量、金額共に好調な推移となった。

シェア 65% の東アジアは、中国、香港、韓国が健闘し、東アジア全体として 27% 増となった。一方、シェア 22% の西アジアは、サウジアラビアが停滞したが、アラブ首長国が大きく増加し、全体として 38% 増となった。また、欧米市場は、米国は 23% 減、一方、EU は 16% 増と明暗を分けた。

毛織物は、数量で 28% 増、金額で 17% 増と久し振りに数量、金額が揃って増加推移となった。

地域的には、東アジアが 97% とほぼ全量を占めている。ベトナムは減少したが、中国、香港、韓国が増加し、東アジア全体として 28% 増となった。

不織布の輸出は、数量で 11% 増、金額で 9% 増と数量、金額共に増加推移となった。

全体の 60% を占める東アジアは、最大市場の中国、香港、シンガポールが増加し、韓国、台湾、タイ、マレーシアが減少したが、全体として 19% 増となった。

欧米市場は、シェア 33% の米国は 5% 増となったが、一方、シェア 5% の EU は 13% 減と減少した。

コーテッド織物の輸出は、数量で 34% 増、金額で 22% 増と数量、金額共に大幅な増加となった。

全体の 79% を占める東アジアは、最大輸出先の中国、香港、ベトナム、タイが大きく伸び、全体として 40% 増の大幅増加となった。

欧米市場は、シェア 7% の米国は 75% 増と大幅に増加、一方、シェア 5% の EU は 30% 減と対照的な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で 14% 増、金額で 20% 増と数量、金額共に好調に推移した。

全体の約 9 割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、また香港、台湾、インドネシアが好調な推移となった。一方、韓国、ベトナム、タイは減少推移となった。

また、欧米市場向けは、米国は大幅な増加が続いており、EU は、数量増の金額減となった。

アパレルの輸出は、金額で 10% 増と 2 ヶ月連続の増加となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、主要国の香港、台湾、中国、EU が伸び、米国は

減少したが、金額で13%増となった。また、下着類は、台湾、香港、韓国、中国が軒並み健闘し、金額で29%増となった。

一方、ニット製衣類では、外衣類は、香港、台湾が健闘し、中国、EUの不振をカバーし、金額で13%増となった。一方、下着類は、韓国、中国が健闘したが、香港台湾が振るわず、金額で9%減となった。

その他二次製品は、金額で13%増と2桁の増加推移となった。

・原料（綿・糸）の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ポリエステル綿が減少推移となったが、スフ綿、ビニロン綿及び主力のアクリル綿がいずれも増勢で推移し、全体では26%増の32,121トン、金額についても30%増の8,578万ドルと数量、金額とも増勢推移となった。

<糸輸出>

糸は、主力の合繊長繊維糸をはじめ、人絹糸、合繊短繊維糸、綿糸いずれも堅調に推移し、全体では9%増の9,863トン、金額についても17%増の6,526万ドルとなった。

2007年1月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2007年1月				2006年1～12月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年比	金額	単価
スフ綿	6,532	134	22,527	345	62,898	99	222,022	353
合繊綿	23,309	126	61,739	265	313,244	99	781,236	249
ポリエステル	2,784	89	4,897	176	46,753	103	75,520	162
アクリル	18,059	135	43,424	240	238,023	98	565,715	238
他合繊綿	2,468	123	13,417	544	28,469	100	140,002	492
人絹糸	865	101	6,808	787	12,210	95	89,752	735
合繊長糸	8,274	110	52,642	636	109,458	102	688,416	629
ナイロン	1,759	96	12,808	728	23,766	99	155,289	653
ポリエステル	2,905	115	11,110	382	38,017	96	158,578	417
他合長糸	3,610	114	28,725	796	47,675	110	374,550	786
綿糸	410	107	2,721	664	5,070	92	33,663	664

出所：財務省統計

・織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出

1月の織物（絹・化合織・綿・毛）の輸出は、ポリエステル長繊維織物、ポリエステル短繊維織物、綿織物、人絹織物、毛織物が軒並み増勢で推移し、織物トータルとしては、数量で前年同月比9%増、金額では8%増と数量、金額共に好調な推移となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地及びコーテッド織物も、数量、金額共に2桁増と好調な推移となった。

2007年1月の織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出状況

単位：1000SM、1000\$、前年比は数量比 %

	2007年1月			2006年1-12月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年比
絹織物	494	6,497	101	7,587	109,039	92
人絹織物	4,276	13,848	122	74,363	227,232	92
スフ織物	678	2,768	74	9,863	38,529	79
合織（長）織物	32,067	62,523	102	582,944	1,098,929	102
ポリ（長）織物	23,393	42,606	101	447,965	802,228	100
ナイロン織物	3,494	6,789	90	72,490	134,852	124
合織（短）織物	13,521	26,596	133	181,330	358,097	109
ポリ（短）織物	12,571	24,521	136	170,401	334,664	111
綿織物	21,187	66,912	105	315,623	969,658	97
毛織物	2,082	12,683	128	49,597	322,469	92
コーテッド織物	1,113	22,014	134	18,075	398,997	103
ニット生地	12,147	39,979	114	188,854	631,885	104

（注）1．ポリエステル（長）ナイロン（長）織物は、ポリエステルの重量が全体の85%以上の織物。

2．コーテッド織物の数量単位はトン。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、中国、香港、韓国、ベトナムが数量、金額共に前年同月を上回り健闘した。一方、台湾は数量横ばいの金額減、インドネシアは数量減の金額増、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシアは数量、金額共に

減少推移となった。特に、中国の増加は先行き明るい材料であるが、今年は2月が中国の旧正月の休暇に当たり、2月は、その影響による、取り引きの停滞が懸念される。

純輸出市場では、西アジアは、サウジアラビアはポリエステル長繊維織物が不振で数量、金額共に前年同月を下回ったが、アラブ首長国は、ポリエステル長・短織物が共に好調を維持し、数量、金額共に前年同月を大幅に上回った。

欧米市場は、EUは主力のポリエステル長繊維織物を中心に各品目が軒並み好調で、数量、金額共に前年同月を大幅に上回った。一方、米国も、ポリエステル長繊維織物は不振推移となったが、綿織物が大幅に伸び、数量、金額共に前年を上回った。

．主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2007年1月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは、ニット製下着が不振で推移した他は、布帛製外衣・下着、ニット製外衣がいずれも増加推移となり、全体では前年同月比10%増の29,294千ドルとなった。

他方、その他の品目については、敷物及び漁網・その他の網・網地が増加推移、細幅織物・紐類が減少推移となった。

2007年1月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2007年1月		2006年1～12月	
	金額	前年同月比	金額	前年比
布帛製衣類・付属品	18,697	114	202,136	98
外 衣	11,983	113	121,212	98
下 着	4,483	129	44,902	106
スカーフ・マフラー	385	70	7,058	87
ニット製衣類・付属品	10,597	103	147,156	90
外 衣	4,042	113	54,568	96
下 着	4,558	91	58,260	83
敷 物	2,286	130	28,747	88
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	3,434	149	44,462	113
細 幅 織 物 ・ 紐 類	10,446	90	183,274	96

2006年12月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

12月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比105.1%（前月比は91.4%）、ドルベース同106.6%（前月比は91.4%）、数量(重量)同106.0%（前月比は92.2%）と、円金額が17ヶ月連続で増加、ドル金額は10ヶ月連続増加、数量も6ヶ月連続で増加した。前月比は、秋冬物の入荷ピークを越え金額、数量ともに減少した。

糸類は数量で前年同期比6.1%増と6ヶ月続けて増加。内訳は、毛糸、人織(長)糸、その他の糸が増加、絹糸、綿糸、人織(短)糸が減少した。織物類は同7.1%増と5ヶ月ぶりに減少した前月から増加に転じた。黄麻織物、人織(長)織物、人織(短)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物が減少した。衣類は同5.7%増加となり4ヶ月続けて増加した。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同5.9%増で10ヶ月続けて増加した。

前月は前年同期比で円金額が8.6%、ドル金額が9.6%、数量も6.8%の増加となったが、今月は円金額が5.4%、ドル金額が6.6%、数量も6.0%の増加となり、前月同様に安定した輸入増となった。なお、12月の為替相場は、前年同月比1.1%円高の117円30銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が12.5%の大幅増、織物類は3.8%増、太宗を占める衣類は6.5%増、二次製品は6.8%増加し、繊維製品計では6.6%の増加となった。

2. うち糸類

➤ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比4.1%減、前年同月比も5.6%の減となったものの、5ヵ月連続で3万梱台を堅持した。これは、昨年後半以降の需給の改善と国内紡績の設備の縮小によるものと思われる。綿糸輸入の88%を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると、首位のパキスタンが26.4%減と大幅なマイナスとなったが2位のインドが17.7%、3位のインドネシアが39.7%それぞれ増加となった。番手別では太番の20番手中心が23.9%の大幅減となったものの、30番手中心が9.4%、40番手中心2.6%、細番の40番手以上が23.6%の増加となった。糸種別にみるとカード糸が22.9%の減少、コーマ糸は21.4%の増加となった。なお混紡綿糸は21.4%のマイナスとなった。

➤ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース45.9%増と8ヶ月連続の増加となり、7ヶ月間20%を超える大幅増が続いている。糸種別に見ると、紡毛糸が同397%増と引き続き大幅に増加し12ヶ月連続で増加、太宗を占める梳毛糸も同38.6%増となった。国別では、トップシェアの中国が同61.4%増と9ヶ月連続で増加、第2位のマレーシアは同7.1%減少。この他の主要国は、台湾、インド、ペルーが増加、タイ、イタリアからの輸入は減少。

- 人織系の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 1.7%の微減となったが、前年同月比は 13.2%の増加となり 4 ヶ月連続のプラスとなった。主要商品を前月に比較すると主力商品のポリエステル糸が 6.7%増となったもののナイロン糸が 5 ヶ月ぶりに 1,000 トン台に落ち込む 20.1%減、量的に少ない人絹糸も 17.9%のマイナスとなった。一方、人織(短)糸はアクリル紡績糸が 18.3%のプラスとなったが、主力商品の T/C, T/R のポリエステル紡績糸が 13.3%減、スフ糸も 5.9%のマイナスとなったことにより全体では前月比 5.5%減、前年同月比も 2.6%の減少となった。

3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで 1 月以来の 4,000 万台回復の前月比 6.9%の増加となったが、前年同月比は 1.8%の微減となった。国別で前月に比較すると、全体の 80%以上を占める中国が、増置税還付率引き下げ前の押し込み輸出もあり 10.0%の 2 桁の増加、2 位のインドネシア 16.5%増、マレーシア、パキスタン等その他は 17.6%の減少となった。品種別にみると金巾が微減ながらほぼ前月並みとなったが粗・細布は 44.1%、ポップリン 7.3%それぞれ増加となった。
- 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 4.4%減少し、3 ヶ月続けて減少となった。中国からの輸入が同 19.6%減と 3 ヶ月連続で減少、イタリアからの輸入は 19.9%増と増加に転じた。また、第 3 位のイギリスも同 1.9%増で 4 ヶ月ぶりに増加。品種別では、紡毛織物が同 4.5%減と 2 ヶ月ぶりに減少、主力の梳毛織物も同 4.5%減と 3 ヶ月続けて減少した。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 4 ヶ月連続の 13.7%のプラス、前年同月比も 11.5%の増加となった。これは、国内の生産が微減ながら縮小傾向にあることに加えナイロン織物の需給調整の進展、更にはポリプロピレン織物に限っては我が国で生産されていないことなどによるものと思われる。品目別に前月に比較すると主力商品のポリエステル織物が 2.3%増、ナイロン織物 49.9%、ポリプロピレン等其他織物 30.5%の軒並みプラスとなった。一方、人織(短)織物は主力商品で中国、インドネシアからの T/C, T/R のポリエステル織物が 18.9%の増加、スフ織物は 2.3%のマイナスとなったものの全体では前月比 9.5%増、前年同期比も 3.0%の増加となった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 5.9%増、布帛製衣類も同 0.3%増、身の廻り品も重量ベース 11.3%増となり、衣類計で重量ベース 5.7%増加となった。ニット製衣類は 4 ヶ月連続で増加し、布帛製衣類、身の廻り品もともに 4 ヶ月連続で増加、衣類計も 4 ヶ月連続で増加した。

主要国別に見ると

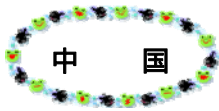
- 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が 7.0%増加し 4 ヶ月連続で増加、布帛製

衣類はマイナス 0.1%、身の廻り品は重量ベース 13.8%増で 4 ヶ月連続の増加となった。今年 1～12 月の衣類計（重量）のシェアは前月から 0.1 ポイント上昇し 91.6%（金額ベースでのシェアは同じく 0.1 ポイント上昇し 83.1%）。

- ▶ 韓国はニット製衣類が同 9.3%減少、布帛製衣類も同 26.5%の大幅減となり、ニット製衣類、布帛製衣類ともに 8 ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 16.2%減と 6 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も同 3.3%減となり 2 ヶ月続けて減少した。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 13.3%増で 2 ヶ月ぶりに増加、布帛製衣類も同 5.1%増となり 6 ヶ月続けて増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではコート、スーツ、ズボン、ドレス、セーターが増加、アンサンブル、ジャケット、スカート、アウターシャツ、スポーツウェア、下着類が減少となった。中でも、ドレスは対前年同月比（枚数）で 3 倍超の 316.7%と前月に引き続き大幅増となった。布帛製外衣類では紳士用が同 3.1%増、婦人用も同 2.1%増加した。紳士用では、前月と同じくコートが増加、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、下着類が減少、婦人用は、コート、スーツ、アンサンブル、ドレス、ズボン、下着類が増加、ジャケット、スカート、ブラウスが減少となった。

前月は数量が 6.8%増加、金額も円ベースで 8.6%、ドルでも 9.6%増加となったが、今月も数量が 6.0%増加、金額も円ベースで 5.1%、ドルでも 6.6%増加となり、前月より伸び率は鈍化したものの数量、金額とも 5%を上回る増加で引き続き堅調に推移した。

速報値ではあるが昨年 1～12 月の年間実績で見ると、繊維製品総計で円金額が前年比 111.6%、ドルベースで同 105.7%、数量(重量)で同 103.6%と、円・ドル金額、数量とも 4 年続けて増加となった。内訳を見ると、糸類は数量(重量)で前年比 0.6%減、円金額で同 13.1%増、ドル金額で同 7.0%増。織物類は数量(重量)で前年比 1.3%増、円金額で同 9.3%増、ドル金額で同 3.7%増。衣類は数量(重量)で前年比 4.3%増、円金額で同 11.5%増、ドル金額で同 5.6%増。衣類を除いた二次製品は数量(重量)で前年比 3.6%増、円金額で同 11.6%増、ドル金額で同 5.7%増となった。



2006年（1～12月）の繊維品貿易・輸出は高い伸びを維持、 輸入は2桁の伸び

【輸出】

- 28%増の1,380億7,786万ドルと高い伸びを維持 -

主要市場の米国、EU向けに規制枠が再び設定され、その動向が注目された2006年の中国の繊維品輸出であるが、1～12月の輸出は前年比28%増の1,280億7,786万ドルと、2005年の伸び率21%増を大きく上回る高率の伸びを維持し、全体としては枠設定による混乱、影響を克服し、依然好調に推移した。

単月での伸びを見ると、1月24%増、2月4%増、3月36%増、4月27%増、5月31%増、6月25%増、7月23%増、8月33%増、9月26%増、10月29%増、11月38%増、12月35%増と、2月に一度伸び率は鈍化したが、それ以降は依然大きな伸びを記録しているのが注目される。

<地域別、国別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア39%（前年比17%増）、ヨーロッパが同26%（同52%増）、北米が同17%（同22%増）、西アジアが同6%（同27%増）、中米が同3%（同47%増）、南米が同2%（同47%増）、アフリカが同5%（同38%増）、大洋州が同2%（同10%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み2桁の増勢推移を維持している。因みに、2005年の地域別伸び率は、東アジアが横ばい、西アジア16%増、ヨーロッパ50%増、北米81%増、中米4%減、南米18%増、アフリカ20%増、大洋州16%増となっており、北米は大幅に減少したが、他地域が軒並み大幅に増加し、米国向けの減少をカバーした形となっている。なお、ヨーロッパは前年を上回る高い伸びを記録しているが、これは以下の国別で見られるとおりEUは前年の59%増から22%増に減少したが、ルーマニア、ロシア、トルコ等非EU国向けの輸出が激増した結果である。

国別では、1位EU（209億5,156万ドル：22%増）、続いて米国（198億6,890万ドル：19%増）、日本（183億9,551万ドル：8%増）、香港（174億7,384万ドル：22%増）、韓国（51億8,422万ドル：27%増）、ルーマニア（50億7,245万ドル：726%増）、ロシア（42億2,613万ドル：20%増）、カナダ（29億2,149万ドル：48%増）、アラブ首長国（26億8,106万ドル：15%増）、オーストラリア（23億2,432万ドル：10%増）、トルコ（20億6,746万ドル：214%増）、シンガポール（18億7,343万ドル：20%増）の順となっている。

2006年12月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				前年比 数量 金額				
	2005 年実績		2006年1月～12月		2005 年実績		2006年1月～12月						
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額					
繊維品合計													
原料(綿)合計													
スフ綿	TON	366,255	1,174,664	511,410	1,417,518	140	121	128					
合繊綿	TON	18,404	30,613	63,500	101,783	345	332	131					
(ポリエステル)	TON	249,556	327,466	337,046	430,089	135	131	142					
(アクリル)	TON	209,965	224,833	293,652	318,907	140	142	146					
糸合計	TON	2,080	4,332	2,505	6,325	120	126	126					
人絹糸	TON	1,376,620	4,906,807	1,775,816	6,172,372	129	126	138					
スフ糸	TON	70,216	248,178	93,262	341,971	133	138	127					
合繊長繊維糸	TON	30,579	126,685	40,827	161,167	134	127	147					
(ナイロン)	TON	381,855	898,133	568,293	1,323,400	149	147	125					
(ポリエステル)	TON	78,816	269,546	96,873	336,401	123	125	150					
合繊短繊維糸	TON	260,818	445,658	400,171	666,310	153	150	120					
綿糸	TON	325,104	955,133	396,541	1,146,321	122	120	130					
綿糸	TON	469,630	1,400,269	577,278	1,827,260	123	130	113					
繊維品合計	千L	16,563,084	15,443,436	18,287,237	17,490,810	110	113	109					
絹織物	千L	288,182	721,273	244,506	786,655	85	109	113					
人絹織物	千L	36,016	31,193	41,923	35,213	116	113	108					
スフ織物	千L	898,195	660,363	958,964	710,912	107	108	104					
合繊長繊維織物	千L	6,144,908	4,716,087	6,471,201	4,894,432	105	104	116					
(ナイロン)	千L	251,307	138,571	274,342	160,404	109	116	104					
(ポリエステル)	千L	5,124,232	3,898,319	5,434,797	4,056,255	106	104	117					
合繊短繊維織物	千L	3,337,745	2,289,888	3,915,004	2,979,684	117	130	116					
綿織物	千L	5,495,734	6,031,459	6,273,325	7,020,604	114	116	107					
毛織物	千L	99,336	526,030	101,923	560,733	103	107	123					
不織布	TON	160,753	361,112	188,523	443,284	117	123	92					
タイヤコード織物	TON	79,345	273,436	78,078	250,266	98	92	127					
コーテッド織物	TON	463,269	1,120,590	576,139	1,428,708	124	127	145					
ニット生地	TON	929,084	3,652,257	1,122,628	4,640,538	121	127	125					
ニット製衣料			30,875,728		44,902,907		145	125					
布帛製衣料			35,038,492		43,709,665		125	119					
その他			14,841,986		17,621,788		119						

出所：中国海関統計

2005 年は枠が撤廃された EU、米国向けが衣料品を中心に特に突出した伸びとなったが、2006 年は EU、米国向けに枠が再設定されたこともあり、両国への伸びは大幅に鈍化している。代わって、韓国、香港、シンガポール等の東アジア諸国、ロシア、ルーマニア、カザフスタン等の旧東欧諸国、トルコ、カナダ、中南米諸国等が大きく伸び（特にルーマニア、トルコ向けが激増）、EU、米国向けの伸びの鈍化をカバーしているのが、2006 年の国別輸出の特徴的な傾向である。

< 品目別輸出状況 >

品目別では、中国の繊維品輸出全体の 64% を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品は、米国、EU 向けの伸びが枠の再設定により昨年に比べ大幅に減速しているにも拘らず、東アジア諸国、旧東欧諸国、カナダ等その他の諸国が大幅に伸び、34% 増の 886 億 1,257 万ドルと大幅な伸びを記録し、依然中国の繊維品輸出を牽引している。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品が 45% 増の 449 億 291 万ドルと大きく伸び、布帛製衣料品及び同付属品も 25% 増の 437 億 967 万ドルと高い伸びを維持している。この結果、2006 年はニット製衣料品の輸出が初めて布帛製衣料品の輸出を上回ったことが注目される。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場は日本（71 億 773 万ドル：9% 増）続いて米国（62 億 9,957 万ドル：23% 増）、EU（57 億 4,070 万ドル：20% 増）、香港（47 億 4,500 万ドル：50% 増）、ルーマニア（36 億 5,796 万ドル：11 倍増）、ロシア（17 億 3,912 万ドル：67% 増）、韓国（14 億 4,794 万ドル：34% 増）、カナダ（10 億 7,073 万ドル：66% 増）、オーストラリア（9 億 4,467 万：5% 増）、カザフスタン（9 億 3,820 万ドル：46% 増）の順となっており、米国、EU は 2005 年の激増もあり、低位の伸びに止まっているが、代わって東アジアの香港、韓国、東欧のロシア、ルーマニア、カザフスタン、またカナダ等が激増しているが目立っている。

また、布帛製衣料品の輸出先は 1 位が EU（93 億 1,399 万ドル：26% 増）、日本（80 億 6,748 万ドル：6% 増）、米国（78 億 8,098 万ドル：19% 増）、香港（39 億 2,259 万ドル：20% 増）、韓国（16 億 7,943 万ドル：32% 増）、ロシア（14 億 9,136 万ドル：6% 減）、ルーマニア（13 億 397 万ドル：545% 増）、カナダ（12 億 9,075 万ドル：52% 増）、オーストラリア（8 億 202 万ドル：11% 増）、シンガポール（6 億 7,909 万ドル：47% 増）の順で、ここでも、米国、EU の減速、一方、韓国、香港、シンガポール、カナダ、ルーマニア向けの増加が目立っている。

衣料品以外の素材輸出も国内の増設・増産を背景に総じて好調に推移している。

まず、織物類の輸出は、太宗の綿織物及び合織短繊維織物が好調に推移、ポリエステル長繊維織物も堅調で、全体として、数量で 10% 増の 182 億 8,724 万メートル、金額で 13% 増の 174 億 9,081 万ドルと数量、金額共に順調に推移した。

糸類の輸出も各品目共に好調で、合織長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸、合織短繊維糸も大幅に増加しており、全体として数量で 29% 増の 177 万 5,816 トン、金額で 26% 増の 61 億 7,237 万ドルと数量、金額共に好調な推移となった。

綿類の輸出も、ポリエステル綿を中心とする合織綿、またスフ綿の輸出が何れも大きく伸び、数量で 40% 増の 51 万 1,410 トン、金額で 21% 増の 14 億 1,752 万ドルと、規模は小さいが、

高い伸びを記録した。

【輸 入】

綿花の増加もあり 10%増の 234 億 3,247 万ドルと 2 桁の伸び

繊維品輸入は、織物類は低調であるが、原料類では、国内の綿花不足から特に米国等からの綿花の輸入が増加したこともあり、全体として 10%増の 256 億 8,301 万ドルと 2 桁の伸びとなった。

この結果、中国の 1～12 月の繊維品貿易収支の黒字額は前年比 33%増の 1,123 億 9,485 万ドルと、年間で史上初めて 1,000 億ドルの大台を突破した。

< 地域別、国別輸入状況 >

地域別では、東アジアがシェア 69%（前年比：6%増）を占め、西アジアが同 2%（同 35%増）、ヨーロッパが同 7%（同 11%増）、北米が同 12%（同 40%増）、中米が同 0.2%（同 49%減）、南米が同 1%（同 4%増）、アフリカが同 3%（同 10%増）、大洋州が同 6%（同 2%増）の市場構成となっており、中米を除き何れも増加した。

国別では、1 位日本（36 億 2,467 万ドル：3%減）続いて台湾（33 億 8,130 万ドル：横ばい）、米国（29 億 9,676 万ドル：42%増）、韓国（27 億 4,063 万ドル：5%減）、香港（18 億 2,973 万ドル：1%減）、EU（15 億 7,463 万ドル：9%増）、オーストラリア（13 億 6,734：2%増）、インド（9 億 4,950 万ドル：195%増）、パキスタン（7 億 1,748 万ドル：22%増）、ウズベキスタン（4 億 9,710 万ドル：30%増）の順となっている。

< 品目別輸入状況 >

品目別輸入を見ると、綿関係では、化合繊綿は低調な推移となっているが、天然繊維は米国、インド等よりの綿花の輸入が大きく伸びて、全体として、数量で 23%増の 541 万 841 トン、金額で 20%増の 81 億 8,357 万ドルと大幅な増加となった。

糸関係は、太宗の綿糸が大きく増加しており、合繊長繊維糸はほぼ横ばいで推移しているが、全体として数量で 6%増の 175 万 8,737 トン、金額で 7%増の 43 億 2,817 万ドルと数量、金額共に増勢で推移した。

一方、織物類は、綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物等各品目が総じて低調な推移となり、トータルでは、数量で 6%減の 43 億 7,361 万メートル、金額で 1%減の 59 億 7,875 万ドルとなった

その他品目では、ニット生地が金額で 15%増の 21 億 5,349 万ドル、コーテッド織物が 5%増の 10 億 7,592 万ドルと増勢で推移した。

また、衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が 3%増の 7 億 1,667 万ドル、布帛製衣料品が 6%増の 8 億 6,786 万ドルと、何れも増勢基調で推移した。



2006年(1-12月)の繊維品輸出、全体として堅調に推移

香港を取り巻く繊維品輸出環境は、2005年からの枠フリー、2006年からの中国に対する欧米枠の再設定もあり、特に中国との特殊な関係もあって、複雑な時代を迎えたが、2006年(1-12月)の繊維品輸出は、前年比3%増の408億2,771万ドルと全体として堅調に推移した。

<地域・国別輸出>

地域別の輸出先をみると、全体の43%を占める東アジア向けは横ばいの175億7,452万ドル、27%を占める北米が6%増の111億5,823万ドル、23%を占めるヨーロッパが8%増の94億7,051万ドルと欧米向けはいずれも堅調に推移し、この3地域で全体の輸出の93%を占めている。

主要国別輸出では、1位の中国は横ばいの119億1,1307万ドル、続く米国は6%増の102億4,708万ドル、EUは8%増の90億3,762万ドルで、上位3国のうち中国を除く米国、EU向けは順調に推移した。

以下日本が1%増の16億9,384万ドル、カナダが13%増の9億1,114万ドル、オーストラリアが4%減の6億3,089万ドル、台湾6%減の4億5,337万ドル、バングラデシュが12%増の4億2,204万ドル、インドネシアが7%増の4億328万ドル、カンボジアが4%増の3億9,216万ドルの順となっている。

香港の2006年(1-12月)主要国向け輸出状況

(単位：100万ドル)

	2005年 (1-12)	2006年 (1-12)	前年比 (%)
全世界	39,607	40,828	103
中国	11,955	11,911	100
米国	9,705	10,247	106
EU	8,378	9,038	108
日本	1,685	1,694	101
カナダ	808	911	113
オーストラリア	660	631	96
台湾	483	453	94
バングラデシュ	378	422	112
インドネシア	376	403	107
カンボジア	376	392	104
フィリピン	370	353	95
ベトナム	360	366	102
シンガポール	349	346	99
スリランカ	320	292	91

2006年1～12月の香港の繊維品輸出入状況

	輸 入						輸 出													
	2005年実績			2006年(1～12)			2005年実績			2006年(1～12)			前年比							
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額						
繊維品合計																				
原料(綿)合計	TON	31,357,735	226,572	310,947	275,773	32,034,712	TON	39,606,760	201,502	171,076	193,400	116	96	TON	40,827,708	193,400	116	96	TON	103
スフ綿	TON	54,066	14,695	18,808	73,699	128	TON	23,864	7,119	6,884	23,603	97	99	TON	80,187	70	76	TON	76	
合繊綿	TON	113,580	75,531	53,281	83,604	71	TON	105,776	64,265	44,931	80,187	70	76	TON	48,253	66	72	TON	72	
(ポリエステル)	TON	79,735	66,442	41,656	51,405	63	TON	66,587	53,737	35,367	48,253	66	72	TON	12,559	83	84	TON	84	
(アクリル)	TON	12,979	5,448	5,245	11,950	96	TON	14,865	6,117	5,072	12,559	83	84	TON	12,559	83	84	TON	84	
糸合計	TON	4,037,650	1,061,309	1,083,366	4,076,451	102	TON	3,522,889	996,766	996,766	3,607,725	103	102	TON	3,607,725	103	102	TON	102	
人絹糸	TON	62,801	10,268	10,314	58,779	100	TON	52,685	8,531	9,203	48,941	108	93	TON	48,941	108	93	TON	93	
スフ糸	TON	142,437	24,074	24,042	147,455	100	TON	117,533	20,778	21,971	123,908	106	105	TON	123,908	106	105	TON	105	
合繊長繊維糸	TON	658,052	167,213	167,765	649,386	100	TON	602,716	151,072	160,687	617,093	106	102	TON	617,093	106	102	TON	102	
(ナイロン)	TON	295,544	78,859	87,100	317,284	110	TON	272,964	73,264	85,870	306,159	117	112	TON	306,159	117	112	TON	112	
(ポリエステル)	TON	130,345	56,826	52,661	121,284	93	TON	110,415	48,579	48,183	110,165	99	100	TON	110,165	99	100	TON	100	
合繊短繊維糸	TON	441,876	107,072	100,736	421,606	94	TON	418,844	97,818	88,344	383,180	90	91	TON	383,180	90	91	TON	91	
綿糸	TON	1,914,550	701,304	734,367	2,082,985	105	TON	1,812,539	641,804	677,758	1,955,219	106	108	TON	1,955,219	106	108	TON	108	
織物合計	TON	4,990,199	823,764	806,286	4,965,087	98	TON	5,178,152	847,309	813,241	4,959,712	96	96	TON	4,959,712	96	96	TON	96	
絹織物	TON	176,462	4,478	4,382	197,851	98	TON	136,909	3,666	3,694	137,070	101	100	TON	137,070	101	100	TON	100	
人絹織物	TON	141,879	14,191	12,419	130,731	88	TON	111,415	10,981	8,491	97,150	77	87	TON	97,150	77	87	TON	87	
スフ織物	TON	56,935	5,865	5,879	55,073	100	TON	49,150	5,205	4,526	47,051	87	96	TON	47,051	87	96	TON	96	
合繊長繊維織物	TON	1,007,203	176,542	178,983	996,917	101	TON	843,773	160,898	150,106	785,151	93	93	TON	785,151	93	93	TON	93	
(ナイロン)	TON	347,339	68,965	77,387	371,711	112	TON	267,836	60,822	61,486	252,972	101	94	TON	252,972	101	94	TON	94	
(ポリエステル)	TON	480,555	83,902	77,142	446,402	92	TON	412,199	75,674	67,061	373,892	89	91	TON	373,892	89	91	TON	91	
合繊短繊維織物	TON	436,522	70,666	68,213	441,879	97	TON	401,085	68,062	76,870	423,989	113	106	TON	423,989	113	106	TON	106	
綿織物	TON	2,707,126	513,033	498,903	2,691,850	97	TON	3,227,765	562,304	535,342	3,083,995	95	96	TON	3,083,995	95	96	TON	96	
毛織物	TON	207,825	8,011	8,366	205,239	104	TON	146,633	6,167	5,955	136,291	97	93	TON	136,291	97	93	TON	93	
不織布	TON	171,608	26,595	29,689	180,823	112	TON	165,232	23,488	26,790	183,647	114	111	TON	183,647	114	111	TON	111	
タイヤコード織物	TON	13,552	3,082	1,994	7,843	65	TON	14,588	3,160	2,273	10,678	72	73	TON	10,678	72	73	TON	73	
コーツド織物	TON	513,200	117,012	107,734	557,903	92	TON	474,347	105,696	97,334	497,528	92	105	TON	497,528	92	105	TON	105	
ニット生地	TON	2,728,795	533,361	549,461	2,848,196	103	TON	2,908,245	520,339	539,648	3,087,310	104	106	TON	3,087,310	104	106	TON	106	
ニット製衣料		9,245,559			9,480,236	103		13,327,876		13,816,749	13,816,749	104	104		13,816,749	104	104		104	
布帛製衣料		8,027,108			8,255,316	103		12,260,157		12,922,869	12,922,869	105	105		12,922,869	105	105		105	
その他		1,329,118			1,305,152	98		1,553,771		1,548,089	1,548,089	100	100		1,548,089	100	100		100	

単位:1000ドル

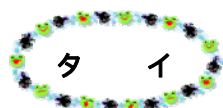
出所:香港関税統計

< 品目別輸出 >

品目別輸出では、全体の輸出の 65% を占める最大輸出品目の衣料品は、ニット製衣料品が 4% 増の 138 億 1,675 万ドル、布帛製衣料品が 5% 増の 129 億 2,287 万ドルで、共に堅調に推移した。

織物類の輸出は、合繊短繊維織物は増加を記録したが、主要織物の綿織物及び合繊長繊維織物が数量、金額共に減少し、織物全体として、数量で 4% 減の 81 万 3,241 トン、金額で 4% 減の 49 億 5,971 万ドルと低調な推移となった。

原料関係では、糸類の輸出は、合繊短繊維糸は減少したが、最大輸出品目の綿糸、また合繊長繊維糸が数量、金額共に増加推移となり、全体として数量で 3% 増の 99 万 6,766 トン、金額で 2% 増の 36 億 773 万ドルとなった。また、綿類の輸出は、数量で 16% 増の 17 万 1,076 トンとなったが、金額では 4% 減の 1 億 9,340 万ドルと数量増の金額減となった。



2006 年（1 - 12 月）の繊維品貿易・輸出は増加推移、 輸入は微増推移

【輸 出】

4% 増の 69 億 6,382 万ドルと若干の増加推移

タイの通関統計によると、2006 年（1 - 12 月）のタイの繊維品輸出は、クオータフリー後、再び中国品の一部に欧米で枠が設定されたこともあり、その影響が注目されたが、前年比 4% 増の 69 億 6,382 万ドルと堅調な増加推移となった。

市場別では、州別としては、北米（シェア：32%）が横ばい、東アジア（シェア：32%）が 1% 増、ヨーロッパ（シェア：23%）が 13% 増で、この 3 大市場で全体の 87% を占めているが、東アジア、北米のほぼ横ばいに対し、ヨーロッパ向けは 2 桁の増加となった。

国別では、米国、EU、日本、中国、アラブ首長国、香港、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、インドの順で、この 10 カ国で全繊維品輸出の 72% を占めている。最大市場の米国向けは横ばいの 21 億 3,179 万ドル、EU が 11% 増の 13 億 8,017 万ドル、日本は 3% 減の 4 億 301 万ドル、中国が 9% 減の 2 億 5,558 万ドル、アラブ首長国が 6% 増の 1 億 8,494 万ドル、香港が 3% 増の 1 億 8,229 万ドル、ベトナムが 23% 増の 1 億 4,291 万ドル、インドネシアが 10% 減の 1 億 3,667 万ドル、バングラデシュが 13% 増の 1 億 1,547 万ドル（12% 増）、インドが 1% 増の 1 億 1,525 万ドルとなっている。

これを品目別に見ると、タイの最大輸出品目で全体の繊維品輸出の 52% を占める衣料品は、ニット製衣料品は最大市場の米国、EU 向けの増加を中心に 10% 増の 20 億 8,540 万ドルと 2 桁の伸びとなり好調な推移となったが、布帛製衣料品は主力の米国が不振で 3% 減の 15 億

2,481 万ドルと苦戦した。

織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は総じて量的に伸び悩んだが、綿織物、合繊長繊維織物の輸出単価が上昇したことにより、全体として数量で 2%減の 15 万 2,025 トン、金額では 4%増の 9 億 3,519 万ドルと数量微減の金額微増となった。

内訳は、最大品目の綿織物が数量で 1%増の 5 万 8,309 トン、金額で 12%増の 3 億 8,648 万ドルと数量、金額共に増加したが、合繊短繊維織物は数量で 2%減の 4 万 7,564 トン、金額で 1%減の 2 億 6,608 万ドルと数量、金額共に減少、また、合繊長繊維織物は数量で 2%減の 3 万 3,508 トン、金額 4%増の 2 億ドルと数量減の金額増となった。

一方、原料関係の輸出は、綿類は数量で 8%減の 35 万 7,284 トン、金額で横ばいの 4 億 7,595 万ドルとなった。中心品目の合繊綿は、ポリエステル綿が数量で 23%減の 18 万 2,672 トン、金額で 19%減の 2 億 2,374 万ドルと 2 桁の減少となったが、アクリル綿は数量で 46%増の 7 万 8,540 トン、金額で 62%増の 1 億 5,279 万ドルと大幅な増加となった。

糸類の輸出は、数量で 11%減の 31 万 2,079 トン、金額で 3%減の 7 億 8,864 万ドルと数量、金額共に減少した。太宗の合繊長繊維糸は、ナイロンは増加推移となったが、太宗のポリエステルが大幅に減少し、数量で 14%減の 17 万 976 トン、金額で 5%減の 3 億 5,683 万ドルとなった。その他の糸では、綿糸が数量で 9%減の 4 万 8,556 トン、金額で 6%減の 1 億 3,972 万ドル、合繊短繊維糸は数量で 15%減の 5 万 3,164 トン、金額で 11%減の 1 億 4,246 万ドルと各々不振推移となった。

【輸 入】

2%増の 29 億 9,726 万ドルと微増推移

2006 年(1 - 12 月)のタイの繊維品輸入は 2%増の 22 億 5,914 万ドルと微増推移となった。

市場別では、州別としては東アジアが 68%と圧倒的なシェアを占め 6%増、続いて欧州が同 11%を占め 11%増と何れも増加したが、同 8%の北米が 20%減と大きく後退しているのが目立っている。

国別では、中国、台湾、EU、日本、米国、オーストラリア、香港、韓国、インドネシア、インドが 10 大輸入先で全繊維品輸入の 86%を占めている。最大輸入先の中国は 12%増の 7 億 7,303 万ドル、続く台湾が 5%増の 3 億 2,702 万ドル、EU が 15%増の 3 億 203 万ドル、日本が 8%減の 2 億 7,878 万ドル、米国が 19%減の 2 億 3,664 万ドル、香港が横ばいの 1 億 7,445 万ドル、オーストラリアが 14%増の 1 億 7,800 万ドルのとなっており、日本、米国を除いて増加推移となっている。

その他主要輸入先は、韓国(1 億 1,884 万ドル：3%減)、インドネシア(1 億 909 万ドル：6%増)、インド(7,600 万ドル：52%増)等となっている。

2006年1～12月のタイの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入						輸 出													
	2005年実績			2006年(1～12)			2005年実績			2006年(1～12)			前年比							
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額						
繊維品合計																				
原料(綿)合計		2,929,876		2,997,258																
スフ綿	TON	590,081	787,879	507,301																
合繊綿	TON	5,768	20,339	4,231																
(ポリエステル)	TON	48,379	77,667	46,518																
(アクリル)	TON	25,457	35,414	28,604																
糸合計	TON	18,594	32,332	11,973																
人絹糸	TON	97,023	399,938	112,909																
スフ糸	TON	2,534	10,269	2,567																
合繊長繊維糸	TON	224	1,130	315																
(ナイロン)	TON	72,910	265,713	82,035																
(ポリエステル)	TON	31,585	128,745	29,719																
合繊短繊維糸	TON	33,541	80,337	43,343																
綿糸	TON	6,901	33,441	11,146																
織物合計	TON	12,046	62,943	14,451																
絹織物			645,665																	
人絹織物	TON	103	4,574	76																
スフ織物	TON	1,479	12,490	1,216																
合繊長繊維織物	TON	22,319	56,828	18,087																
(ナイロン)	TON	25,970	146,343	28,300																
(ポリエステル)	TON	3,828	29,708	3,409																
合繊短繊維織物	TON	14,189	80,700	16,171																
綿織物	TON	16,516	88,842	23,326																
毛織物	TON	43,116	286,971	47,572																
不織布	TON	1,322	32,741	1,204																
タイヤコード織物	TON	16,538	67,329	19,302																
コーテッド織物	TON	21,155	77,858	21,174																
ニット生地	TON	27,689	44,365	13,633																
ニット製衣料	TON	47,784	357,194	53,570																
布帛製衣料			67,217																	
その他			114,323																	
			368,108																	

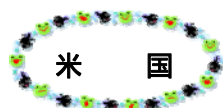
出所：タイ通関統計

品目別では、綿類の輸入は天然繊維原料の輸入が主体であるが、数量で14%減の50万7,301トン、金額で8%減の7億2,751万ドルと大幅な減少となった。

糸類の輸入は、合繊長繊維系、合繊短繊維系の増加を主体に、数量で16%増の11万2,909トン、金額で7%増の4億2,651万ドルと綿類とは逆に増加推移となった。

織物類の輸入は、主要品目では、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は数量、金額共に増加したが、最大品目の綿織物が数量増の金額減となり、全体として数量で8%増の12万1,559トン、金額で2%減の6億3,420万ドルと数量増の金額減となった。一方、ニット生地は、数量で12%増の5万3,570トン、金額で6%増の3億7,908万ドルと数量、金額共に増加推移となった。

また、衣料品の輸入は、ニット製衣料品が33%増の8,960万ドル、布帛製衣料品が31%増の1億4,953万ドルと、中国、EUからの輸入を中心に、額は未だ小さいが大幅な伸び率を記録した。



2006年12月の繊維品輸入、微増

年間では2.6%増と、5年連続の増加

米商務省が発表した2006年12月の米繊維品輸入は0.5%増と、微増ながら前月のマイナスから再びプラスに転じた。主要供給国では、中国とインドが大幅に増加したが、パキスタン、メキシコ、カナダは落込んだ。

2006年(1~12月)の輸入は、中国、パキスタン、インドなどの東アジア諸国を中心に2.6%増となり、5年連続の増加を記録した。

【2006年12月の輸入】

2006年12月の米繊維品輸入は前年同月比0.5%増の38億4,900万平方メートル換算(SME)となり、微増ながら11月の減少(0.3%減)から再び増加に転じた。このうち、ノン・アパレル(糸、織物、その他繊維製品)は3.3%減と4カ月連続の減少となったが、アパレルは5.8%増で7カ月連続の増加となった。

地域別輸入では、5大供給国のうち、トップ・サプライヤーの中国は25.4%増と5カ月連続の二桁増となり、その輸入量(15億100万SME)は全体の39%と大きなシェアを占め、他の供給国を凌駕している。また、第4位供給国のインドも17.0%の二桁増となった。一方、第2位のパキスタンは5.2%、3位のメキシコは18.6%、5位のカナダは33.7%のそれぞれ減少となった。

【2006年(1~12月)の輸入】

2006年(1~12月)の米繊維品輸入は、ノン・アパレルが296億1,000万SMEで前年比2.7%増、アパレルが225億4,000万SMEで2.4%増、繊維品全体が521億5,000万SMEで2.6%増となり、2002年から5年連続の増加を記録した。2006年の主要地域別輸入状況は、

以下の通り。

米国の繊維品輸入推移

単位； 100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	0.7	16,103	0.4	32,812	0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,829	6.8	22,010	10.3	50,839	8.3
1月	2,257	5.0	1,645	8.5	3,902	6.4
2月	2,206	17.3	1,760	2.2	3,965	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,068	5.8
4月	2,341	1.5	1,549	11.7	3,890	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	1.4	2,065	19.5	4,553	7.1
7月	2,353	0.1	1,990	7.3	4,344	3.3
8月	2,593	8.2	2,159	13.3	4,752	10.4
9月	2,487	12.0	2,127	8.9	4,614	9.6
10月	2,565	13.8	1,916	6.3	4,481	9.3
11月	2,419	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,237	5.7	1,594	5.9	3,831	5.8
2006年	29,610	2.7	22,540	2.4	52,150	2.6
1月	2,504	10.9	1,698	3.2	4,201	7.6
2月	2,153	2.5	1,587	9.8	3,740	5.7
3月	2,362	0.9	1,687	2.4	4,049	0.5
4月	2,515	7.5	1,493	3.6	4,008	3.1
5月	2,706	6.2	1,669	2.1	4,375	2.9
6月	2,682	7.9	2,071	0.3	4,753	4.4
7月	2,520	7.1	2,032	2.0	4,551	4.8
8月	2,654	2.4	2,316	7.3	4,971	4.6
9月	2,435	2.1	2,324	9.2	4,759	3.1
10月	2,562	0.1	2,155	12.5	4,716	5.2
11月	2,353	2.7	1,824	3.1	4,177	0.3
12月	2,164	3.3	1,686	5.8	3,849	0.5

注：前年比は増減、は減少。 出所：米商務省（DOC）

主要地域別輸入では、ビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）及びアセアン、更に「その他地域」の中のパキスタン、インド、バングラデシュなどの東アジア諸国が活発に推移したが、米近隣の NAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコとカナダ）及び CBI（カリブ海沿岸諸国）は東アジア諸国の増勢の煽りを受けて減少を余儀なくされている。

- ビッグ4からの輸入は9.4%増で、このうち、トップ・サプライヤーの中国は米国の輸入規制により前年の43.8%増から11.0%増へと減速したが、それでも全体の36%と大きなシェアを占めている。中国からの輸入では、織物は減少となったが、ナイトウェア、帽子、

ショール、スカーフ、シャツなどの規制適用外の衣料・その他繊維製品が大幅な増加となった。

その他では、韓国と台湾は織物を中心にそれぞれ 5.5%増、8.2%増と順調に推移した。他方、香港は、主力のアパレルのみならず、ノン・アパレルも低調に推移し、15.0%の大幅な減少となった。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	前年比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,839	52,150	2.6
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	5,864	14.9
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	3,425	11.8
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	2,439	19.0
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	3,796	9.0
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	1,144	9.4
エルサルバドル	768	817	895	895	897	744	17.0
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	588	18.9
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,595	22,535	9.4
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	18,611	11.0
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	2,139	5.5
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	1,172	8.2
香港	1,092	962	892	862	721	613	15.0
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	5,754	11.9
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	1,019	3.1
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	1,599	18.1
フィリピン	916	817	794	711	643	694	7.8
ベトナム	33	358	827	905	950	1,148	20.8
カンボジア	389	474	561	673	740	870	17.6
EU（15カ国）	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	1,699	11.2
イタリー	521	518	533	462	385	325	15.6
ドイツ	457	551	484	479	453	383	15.6
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	12,502	3.1
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	3,568	8.4
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	2,655	13.7
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	1,495	13.8
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	725	14.1

アセアンからの輸入は長期的に増加傾向にあるが、2006年も11.9%増と主要地域の中で最も大きく伸びた。このうち、インドネシア（18.1%増）、ベトナム（20.8%増）、カンボジア（17.6%増）、フィリピン（7.8%増）の主要国は何れも衣料品を中心に大幅に増加した。一方、タイは、アパレルは伸びたが、ノン・アパレルの不調で3.1%減となった。なお、アセアンからの輸入では、衣料品が全体の74%を占めている。

NAFTA パートナーからの輸入は低迷し、衣料品とその他繊維製品を中心とするメキシコは 11.8%減、糸と織物主体のカナダは 19.0%減となり、両国合わせて 14.9%減と 2 年連続の減少となった。

また、CBI からの輸入も 9.0%減と低調であり、2001 年以来 5 年ぶりの減少となった。2006 年の輸入では、ドミニカ共和国が 18.9%減、エルサルバドルが 17.0%減、ホンジュラスが 9.4%減と、主要国は何れも大幅な減少となった。なお、CBI からの輸入は、アパレルが 97%と殆どを占めている。

EU (15 カ国) からの輸入では、主力のイタリーとドイツは織物の不振で共に 15.6%の減少となり、全体で 11.2%減と 2 年連続の減少となった。

上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、東アジア諸国が「ポスト・クオータ」のメリットを享受して活況を呈しており、特に衣料品とその他繊維製品が主力のパキスタン (8.4%増) とインド (13.7%増)、衣料品主体のバングラデシュ (13.8%増) が大幅に増加した。

2007 年 1 月の米大手小売店販売、堅調

米国の国際ショッピング・センター協会 (ICSC) が纏めた「米チエーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店 52 社の 2007 年 1 月の売上高は、寒波到来とギフトカード使用による購買で、前年同月比 (既存店比、以下同じ) 3.7%増となり、前月の伸び率 (3.1%) を上回り、2006 年 9 月 (4.0%増) 以来の高い伸び率となった。

エコノミストは、1 月の小売販売について、「堅調な米経済と雇用市場を背景に、消費者の購買意欲は衰えておらず、これに加え、遅まきながらの寒波到来による冬物商品の購買とクリスマス商戦中に販売されたギフトカード使用による購買で、多くの小売店が売上げを伸ばし、冬物商品の在庫を減らすことが出来たようである」と分析している。

1 月のストア・タイプ別販売では、百貨店は 6.7%増、衣料品専門店チェーンは 3.3%増、ディスカウント・ストアは 2.6%増といずれも増加となった。

1 月のストア・タイプ別販売状況は、以下の通り。

大手百貨店の1月の販売は、殆どの百貨店が冬物衣料を中心に順調に売上げを伸ばした。特に、高級百貨店は、株式相場の上昇もあって、顧客の富裕層の購買意欲が旺盛で、サクスが11.4%増、ニーマン・マーカスが11.3%増、ノードストロムが11.1%増と、何れも大幅な増加となった。このうち、サクスは、商品としては、女性用のモダン・コレクション、デザイナー・アパレル、アクセサリ、男性用の高級スポーツウェアとアクセサリがベスト・セール品目であった。また、ニーマン・マーカスは、地域では中西部と北西部、商品では女性用のデザイナー・アパレルとドレス、男性用衣料品の販売が好調であった。

また、中級百貨店も、一部を除き、順調に売上げを伸ばし、コールズは8.7%、フェデレーテッドは8.6%、ボン・トン・ストアーズは6.4%、J.C.ペニーは3.6%のそれぞれ増加となった。これらの百貨店は何れも、販売増の要因として、寒波到来

による防寒用品の需要増とクリスマス・ギフトカード使用による購買増を挙げている。

このうち、ボン・トン・ストアーズは、女性用のラージサイズ・スポーツウェア、ミッシー用のベター・スポーツウェア、男性用のスポーツウェアとアクセサリがベスト・セール品目であった。また、J.C.ペニーは、全ての地域が売上げを伸ばし、商品では春物衣料に加え、防寒用の衣料品・アクセサリの需要増を反映して、衣料品の販売が全般的に好調であった。

大手衣料品専門店チェーンの1月の販売は、斑模様であった。

衣料品専門店チェーンのうち、若者向け専門店では、アメリカン・イーグル・アウトフィッターズが17.0%増、リミテッド・ブランドが11.0%増、エアロポステールが5.4%増と伸びたが、パシフィック・サンウェアは7.7%減、アバークロンビー&フィッチは6.0%減と落込み、ギャップは横ばいとどまった。

このうち、アメリカン・イーグル・アウトフィッターズは、「1月の大幅増は、スプリング・コレクションが活発に動き、また毎年恒例のクリアランス・セールが顧客の好評を得たことによる」と説明している。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：%

年 月	2002	2003	2004	2005	2006	2007
1	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0	3.7
2	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2	
3	6.4	-0.2	6.8	4.1	1.9	
4	1.6	3.1	3.7	2.2	6.6	
5	3.4	2.0	5.4	2.9	4.5	
6	5.1	2.4	2.6	5.2	2.6	
7	2.6	4.2	3.8	3.6	3.9	
8	1.6	4.9	1.3	3.6	2.9	
9	1.5	5.8	2.4	4.0	4.0	
10	3.1	2.4	4.1	4.4	3.0	
11	0.0	3.3	1.7	3.5	2.5	
12	1.0	4.3	2.7	3.2	3.1	
年間平均	3.1	2.9	3.8	3.8	3.7	

注：伸び率は前年同月比(既存店比)の増減を示す。

また、リミテッド・ブランドは、傘下小売店では、リミテッド・ストア（女性用衣料品店）が5%増、エクスプレス（男性・女性用衣料品店）が14%増、ビクトリアズ・シークレット（女性用下着店）が7%増、バス・アンド・ボディワークス（バス用品店）が19%増と、いずれも前年を上回った。

一方、衣料品専門店チェーン最大手のギャップは、傘下ストアのうち、ギャップ・ストア（ティーンエイジャー向け主体の衣料品店）は6%減、オールドネイビー（低価格路線の衣料品店）は1%減となったが、バナナリパブリック（高級志向の衣料品店）が14%の大幅増となり、全体で11カ月連続のマイナスから横ばいに持ち直した。

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンの販売では、ドレス・バーンは8.0%増と順調に伸びたが、アン・テラー・ストアは

10.2%の大幅減となり、明暗が分かれた。このうち、アン・テラー・ストアは、部門別では、アン・テラー部門（ファッション衣料品店）が13.0%減、アン・テラー・ロフト部門（手頃価格衣料品店）が12.5%減となった。

大手ディスカウント・ストアの1月の販売は、ターゲットが5.1%増、T J Xが4.0%増、ウォル・マートが2.2%増と、何れも堅調に推移した。

このうち、米小売店最大手のウォル・マートは、「地域では、北東部と北部（ロッキーマウンテン・エリア）が好調であった。商品では、寒波到来で、毛布、フリース、アウターウェア等の防寒用品が伸びた」と報告している。

2007年1月の米主要小売店の販売状況

単位；100万ドル、%

小 売 店 名	売 上 高	
	前年同月比	
<百貨店>		
ボン・トン・ストアーズ	241	6.4
ディラード	508	-3.0
フェデレーテッド	1,780	8.6
J.C.ペニー	1,396	3.6
コールズ	992	8.7
ニーマン・マーカス	270	11.3
ノードストロム	610	11.1
サクス	183	11.4
<衣料品専門店チェーン>		
アバークロンビー&フィッチ	252	-6.0
アメリカン・イーグル・アウトフィッターズ	207	17.0
アン・テラー・ストア	150	-10.2
ドレス・バーン	72	8.0
エアロポステール	90	5.4
ギャップ	955	0.0
リミテッド・ブランド	1,060	11.0
パシフィック・サンウエア	97	-7.7
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	4,896	5.1
T J X	1,000	4.0
ウォル・マート	31,693	2.2

組合関係の会議と催事

【2007年2月】

輸出入

- ・経産省「産構審繊維産業分科会基本政策小委員会」(第1回、第2回)が開催、輸出入組合代表委員として塘企画委員長が出席。

輸出

- ・「平成18年度第1回原料委員会」開催。
- ・「平成18年度第3回保険・受渡委員会」開催。

輸入

- ・「第143回企画委員会」開催。
- ・東京・大阪・名古屋で「貿易実務の基礎-実践編研修会」開催。

1日(木)

輸入(東京)「第5回組合運営に関するタスクフォース」(神谷議長)が開催され 新繊維ビジョン 中期収支見通し及び賦課金率 商品別・機能別委員会組織見直し、について審議が行われた。

8日(木)

輸入(東京)「第143回企画委員会」(塘委員長)が開催され臨席の経済産業省繊維課通商室・大久室長より「我が国繊維貿易の現状と通商政策」について説明があった後、2007年繊維製品輸入見通し 各委員会活動 新繊維ビジョン 日中繊維貿易定期協議 タスクフォースの検討状況について夫々報告説明と審議が行われた。

9日(金)

輸出入(東京)経産省会議室で「産構審繊維産業分科会第1回基本政策小委員会」が開催され、輸出入組合代表委員として塘企画委員長が出席され審議が行われた。

輸入(福岡)福岡市港湾局主催「第1回海貨ロジスティクス研究会」に貿易制度専門委員会海野副委員長が講師として招聘され「アパレルから見た物流事情 - 中国からの輸入を中心として/アパレルが望むこと」と題し講演を行った。

19日(月)

輸入(東京)「貿易実務の基礎-実践編研修会」が大谷巖ジェットロ認定貿易アドバイザーを講師に迎えて東京TF Tビル会議室で開催され、組合員121名が出席した。

輸出入(東京)経産省会議室で「産構審繊維産業分科会第2回基本政策小委員会」が開催され、輸出入組合代表委員として塘企画委員長が出席され審議が行われた。

22日(木)

輸入(名古屋)貿易実務の基礎-実践編研修会」が大谷巖ジェットロ認定貿易アドバイザーを講師に迎えて名古屋商工会議所会議室で開催され、組合員14名が出席した

23日(金)

輸入(大阪)「貿易実務の基礎-実践編研修会」が大谷巖ジェットロ認定貿易アドバイザーを講師に迎えて輸出繊維会館BM会議室で開催され、組合員83名が出席した。

26日(月)

輸出(大阪)平成18年度第1回原料委員会(議長:千速委員長)が開催され、平成19年の原料(綿・糸)の輸出見通しについて検討が行われた。

27日(火)

輸入(大阪)タイ国・「観光コンベンションビューロー(TCEB)」代表団が来所され、古宮主任研究員ほか懇談した。

28日(水)

輸出(大阪)平成18年度第3回保険・受渡委員会(議長:安藤委員長)が開催され、平成19年度包括保険特約の更改について検討が行われた。

輸入(東京)JICA事業「ルーマニア貿易振興」研修員ほか来所され懇談した。

3月のスケジュール(2月1日現在)

1日(木)	輸出	(大阪)	「平成18年度第5回組合運営に関するタスクフォース」
2日(金)	輸出	(大阪)	「平成18年度第2回不織布委員会」
	輸入	(大阪)	「第29回綿委員会」
	輸入	(東京)	「FTA検討会」
5日(月)	輸出	(大阪)	「平成18年度第1回製品資材部会」
6日(火)	輸出	(大阪)	「平成18年度第1回アパレル部会」(大阪)
8日(木)	輸出	(大阪)	「平成18年度第1回漁網・漁網糸部会」
12日(月)	輸入	(大阪)	「寝具インテリア委員会/ライフスタイル展出展者打合せ」
13日(火)	輸出	(東京)	「平成18年度第1回アパレル部会」(東京)
14日(水)	輸出	(大阪)	「平成18年度第2回織・編物委員会」(大阪)
15日(木)	輸出入	(上海)	「第3回上海分会」
	輸出	(大阪)	「平成18年度第1回家庭用品部会」
16日(金)	輸出	(横浜)	「平成18年度第1回スカーフ・ハンカチーフ部会」
19日(月)	輸入	(東京)	「第66回貿易制度専門委員会」
22日(木)	輸出	(大阪)	「平成18年度第3回企画委員会」
23日(金)	輸出	(大阪)	「第29回理事会(書面審議)」
29日(木)	輸入	(東京)	「第106回欧州・北米専門委員会」

輸入

組合業務報告

- 東京・大阪・名古屋で「貿易実務の基礎-実践編研修会」を開催 -

輸入組合は2007年2月、東京・名古屋・大阪地区で「貿易実務の基礎研修会」(大谷講師)を開催した。開催概要及び講演項目は以下のとおりである。

「貿易実務の基礎研修会」

開催概要 講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

東京地区 日時：2007年2月19日(月) 10:00 ~ 16:00

場所：東京ファッションセンター(TFTビル)会議室

聴講者：134名

名古屋地区 日時：2007年2月22日(木) 10:00 ~ 16:00

場所：名古屋商工会議所会議室

聴講者：14名

大阪地区 日時：2007年2月23日(金) 10:00 ~ 16:00

場所：輸出繊維会館 BM大ホール

聴講者：83名

講演項目

序章 はじめに

➤ 市場と調査

A. 商品と海外市場調査 B. 取引商品・パートナーのを見つけ方

C. 信用調査

第二章 貿易取引の形態

A. 直接貿易と間接貿易 B. 代理店取引 C. 一手販売取引

第三章 引合から契約まで

A. 価格算出 1. 輸出価格の構成 2. 輸入価格の構成

B. 取引条件 1. 品質条件 2. 数量条件 3. 価格条件 4. 受渡条件

5. 決済条件 6. その他の条件

C. 引合い

D. オファー・カウンターオファー

- E . 契約成立
- F . 貿易の流れ
- 第四章 インコタームズ (International Commercial Terms)
- 第五章 貿易貨物の輸送
 - A . 海上輸送
 - B . 航空運送 1 . 直送貨物の運送 (一般貨物)
 - 2 . 混載貨物の運送
 - C . 国際複合一貫運送 (International Multimodal [or Combined] Transport)
- 第六章 船積書類 (Shipping Documents)
 - A . 船荷証券 (Bill of Lading)
 - 1 . 指図式 (Order B/L) と記名式 Straight B/L)
 - 2 . 船積 B/L (Shipped B/L) と受取 B/L Received B/L)
 - 3 . 無故障 B/L (Clean B/L) と故障付 B/L (Foul B/L)]
 - 4 . 遅延 B/L (Stale B/L)
 - 5 . 通し B/L (Through B/L)
 - 6 . 複合輸送 B/L (Combined Transport B/L)
 - 7 . 海上貨物輸送状 (Sea Waybill)
 - 8 . 航空貨物輸送状 (Air Waybill)
 - 9 . 航空貨物輸送状 (Air Waybill)
 - B . 商業送り状 (Commercial Invoice)
 - C . 梱包明細 (Packing List)
 - D . 保険証券 (Insurance Policy)
- 第七章 取引決済方法
 - A . 信用状付き為替手形決済
 - 1 . 信用状の意義 2 . 信用状の種類 3 . 信用状発行及び接受時の留意事項
 - 4 . 信用状の開設 5 . 条件不一致 (Discrepancy)
 - B . 信用状なしの為替手形決済
 - 1 . D/P 決済 2 . D/A 決済
 - C . 為替手形無しの決済
 - D . ネットティング (Netting)
- 第八章 貿易の保険
 - A . 海上保険
 - 1 . 共同海損と単独海損 2 . 単独海損分損不担保 (FPA)
 - 3 . 単独海損分損担保 (WA) 4 . 全危険担保 (A/R)
 - 5 . 戦争保険とストライキ保険
 - 6 . 保険の始期と終期 7 . 予定保険

8. クレーム提起と保険金請求

B. 貿易保険

C. 製造物賠償責任保険 (PL 保険: Product Liability Insurance)

第九章 外国為替

A. TTS と TTB B. 為替先物予約 C. 為替リスク回避策

D. 採算レート E. 改正外為法

第十章 貿易関係法規

A. 外為法による規制・管理

1. 輸出管理・規制 (輸出貿易管理令)

2. 輸入管理・規制 (輸入貿易管理令)

B. 輸出入取引法による管理

C. 国際条約・協定による管理・規制

第十一章 関税制度

A. 関税三法

1. 関税法 2. 関税定率法 3. 関税暫定措置法

B. 関税率

C. 特別な関税制度

1. 特恵関税制度 2. 関税割当制度

3. 簡易税率制度 4. 特殊関税

第十二章 輸出入通関と船積み・荷受の手順

A. 輸出通関 B. 船積み手順と書類の流れ (B/L 発行されるまで)

C. 輸入通関 D. 輸入貨物の荷受 (コンテナ船の場合) E. 保税地域

第十三章 クレームとその解決

A. 貿易クレーム

1. 品質に関するクレーム

2. 数量に関するクレーム

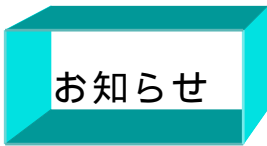
3. 貨物受渡しに関するクレーム

4. 価格決済に関するクレーム

5. マーケット・クレーム (Market Claim)

B. クレーム解決法

1. 和解 2. 調停 3. 仲裁 4. 訴訟



繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」
と「保険期間延長手続き」(輸出組合)

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 19 年 4 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

- * 平成 18 年 10 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成 18 年 4 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月となっております。

1. 提出期限：平成 19 年 4 月 20 日(金)
2. 提出書類： 貿易一般保険包括保険(繊維品)
保険期間延長依頼書 2 通
(用紙は事務局で準備しています。)
延長を必要とする包括保険申込書のコピー 1 通
3. 提出先:総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る 2006 年 10 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	105376 ~ 106260	102639 ~ 103001	100209 ~ 100227
	510000 ~ 511211		

前受け以外に係る 2006 年 4 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	101851 ~ 102321	100808 ~ 101042	100079 ~ 100097
	503533 ~ 504576		

お知らせ

「イラン」を仕向国とする貿易保険引き受け基準の取扱（輸出組合）

このたび、貿易保険から、“「イラン」(国コード：133)を仕向国とする貿易保険引き受け基準の取扱について、イランをめぐる国際情勢を踏まえ適切なリスク管理を行う観点から定める規定であり 実施日より適用いたします”旨連絡がありましたので、通知します。この結果、以下の取扱いとなります。

1. 第3国支払いに関する取扱について

引受基準にかかわらず、仕向国がイランであり支払国又は保証国がイラン以外の輸出契約等については、引受限度額 10 億円の条件に適合しない輸出契約等については引き受けない。従って、特約書の規定にかかわらず保険契約の申込みを要しない。仮に申込みがなされた場合においても、日本貿易保険はてん補する責めに任じない。

ただし、保険契約の締結を希望する者からの申請により日本貿易保険が内諾書を発行した輸出契約等は、当該内諾書に基づき保険契約を締結することとする。

2. 引受限度額：

新 10 億円

2006 年 9 月 13 日以降に Saderat 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社（イラン国外に所在するものを含む。）が発行した USD 建て L/C 又は 2007 年 1 月 11 日以降に Sepah 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社（イラン国外に所在するものを含む。）が発行した USD 建て L/C により決済がされる輸出契約等。

上記に該当する取引については保険契約の申込みを要しない。仮に申し込みがなされた場合においてもてん補する責めに任じない。

旧 10 億円

2006 年 9 月 13 日以降に Saderat 銀行が発行した USD 建て L/C、2007 年 1 月 11 日以降に Sepah 銀行が発行した USD 建て L/C は対象外。

3. ILC 取得条件 : 有り（据置き）

4. 国別倍率 : 4.5 倍（据置き）

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

5. 実施日：平成19年3月6日

お知らせ

「ブルンジ」向け他2カ国の保険引受方針の変更（輸出組合）

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、“「ブルンジ」（国コード：534）向け他2カ国の繊維包括保険の引受方針及び国倍率を変更し、実施日より適用する”旨連絡がありましたのでご通知します。この結果、以下の取扱いとなります。

1. 引受停止国から条件付引受国に緩和（1カ国）

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>	<u>引受限度額</u>	<u>ILC取得条件</u>
534	ブルンジ	8.0倍（据置）	5億円	有り

2. 条件付引受停止国から条件付引受国に緩和（2カ国）

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>	<u>引受限度額</u>	<u>ILC取得条件</u>
526	ルワンダ	8.0倍（据置）	5億円	有り
228	セルビア共和国	8.0倍（据置）	5億円	有り

コソボ自治州を除く

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

3. 実施日：平成19年2月26日

お知らせ

- 2007年4月の輸入通関手続相談窓口開設日 -

2007年月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007年4月11日(水)及び4月25日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03(3270)0791

Fax 番号 03(3243)1088

E Mail 0023@jtia.or.jp(片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以上